

社会的事象を広い視野で捉え直す活動を通して、 多面的に把握して多角的に考察する力を高める授業

社会科 山田 耀

1 単元名

江戸時代の産業や交通の発達 ～新潟町の発展～ 歴史的分野 (2年)

2 目標

- 江戸時代に新潟町が発展した要因を明らかにする活動を通して、新田開発による農業の発達や河川交通の発達、西廻り航路の整備に従って、全国的な産業や交通の発達を説明することができる。

※ 発展・・・本單元ではその都市に住む人口が増加したことと定義する。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">幕府や藩が年貢の収入を増やすため新田開発を行ったことを理解することができる。江戸時代になり、農業や諸産業が発達し、河川交通や西廻り航路などの流通路が整備され、都市が繁栄した様子を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none">越後平野の河川交通の整備、西廻り航路の整備を基に新潟町が江戸時代に発展した理由を説明することができる。	<ul style="list-style-type: none">江戸時代の産業や交通の発達を地的事象から多面的・多角的に考察しようとする。

4 本単元を学習する意義

本單元では江戸時代の産業と町人文化について、産業や交通の発達により都市が発展したことを中心に学習する。新学習指導要領において、「産業や交通の発達については身近な地域の特徴を生かすようにする」とされている。本校が位置する新潟町は江戸時代の全国的な産業や交通の発達により形成された。新潟町が江戸時代に形作られ、急速に発展していった原因や背景を追究することを通して、生徒は具体性や実感を伴いながら江戸時代の全国的な産業や交通の発達を理解することができる。

江戸時代は、安定した徳川政権のもと、飛躍的に産業が発展すると共に、全国流通網が整備され発達した時代である。現在の日本の都市の多くは、東京・大阪のような大都市から、新潟のような地方都市、そして中小都市に至るまで、江戸時代の城下町であるか、江戸時代に陸運や船運など流通の発達に伴って発達した流通都市が多い。

新潟は、江戸時代に陸運や船運など流通の発達に伴って発達した典型的な流通都市である。日本海側の漁村のひとつに過ぎなかった新潟は、江戸時代の200年間で約6倍と大幅に人口が増加し、現在の新潟市の基となる「新潟町」となっていった。その要因として、江戸時代に入り信濃川・阿賀野川を軸にした流通ネットワークが完成し、新潟町は越後各地はもとより会津や米沢まで広がる広範囲な後背地と川を通してつながったこと。さらに西廻り航路により、海を通して大阪や江戸とつながり、生産地と消費地を結ぶ中継点として新潟湊の重要性が高まり急速に成長していったこと。全国的な産業の発達と流通システムの整備により急速に発達したことが挙げられる。

そこで本單元では、新潟町が発展した要因を様々な資料を使って追究することを通して、江戸時代の産業や交通の発達を広い視野から捉え直し、舟運を中心とした江戸時代の流通の発達、流通の発達による産業の発達、これらに従って都市が発展していく様子を理解することができる。また、新潟湊が江戸時代繁栄していたことに気付くことで、新潟の歴史的な重要性を実感する。これが、その後開港地となる新潟の意義を考えること、ひいては開港150周年を迎える新潟の未来像を描くことができることにつながる。これが本単元を学ぶ意義である。

5 本単元における手だて

<手だてア>

江戸時代中期の新潟町の産業や交通の発達に着目する単元構成とする。

身近な地域から社会的事象を捉えようとする資質・能力を発揮させるために行う。

○ 新潟町の人口が増加した要因に着目する活動

江戸時代の産業や交通の発達の概要を知った生徒に、西廻り航路の終着点であり3都の1つである大坂の人口が増加したグラフを提示し、その推移の理由を問う。これにより、産業や交通の発達が都市の発展につながったことを理解する。そこで、生徒に西廻り航路の湊町であった新潟町の人口はどのように推移したかと問う。生徒は西廻り航路の拠点港の1つであったから増加したと予想する。そこで、新潟町の人口が200年間で6倍になり、江戸時代中期以降に新潟町が発展していた事実を示す。さらに、新潟町と長岡、高田の人口の推移を示し、湊町である新潟は増加している一方で、城下町である長岡や高田の人口は減少していることから、湊町であったことが発展につながったと捉えさせる。そこで、生徒に西廻り航路の湊町のうち、新潟、酒田、直江津、敦賀の人口の推移のグラフを示す。そして、新潟と酒田は人口が増加し、他は増加しなかった事実を確認する。

これらのことで、生徒は江戸時代、新潟町は越後の中で他の都市と比べて急速に人口が増加したことを、そこには湊町であることが関係していること、しかしながら湊町にも違いがあることを見出す。これにより、なぜ新潟は江戸時代に人口が増加したのだろうか、江戸時代の新潟町が発展した要因を明らかにしたいという目的意識が醸成され、下記の課題を見いだす。

<本単元における課題>

江戸時代の新潟が発展した要因はなんだろうか。

<手だてイ>

新潟町が発展した要因を追究するジグソー学習を組織する。

社会的事象を多面的に把握するという資質・能力を発揮するために行う。

この課題に対して生徒はおそらく西廻り航路の整備が湊町の発展に影響を与えたのではないかと予想するであろう。そこで、先ほどの西廻り航路の湊町のうち、新潟と酒田は人口が増加し、他は増加しなかった理由を予想させる。これにより、新潟と酒田が広い平野を流れる大河の河口にあることに着目させる。

その上で、新潟が発展した理由をこれまでの学習を基に予想させ、学級全体で共有する。以下の4つの観点に大きく分類されることが予想される。

- ・ 湊の発展
- ・ 農業の発展
- ・ 交通の拠点
- ・ 位置、地形の特性

この中から自分が追究して明らかにしたい観点を選択させ、資料を基に追究を行わせる。個人追究終了後、同じ観点を追究している仲間とグループを組織し、追究内容の確認、強化を行う。

<生徒が明らかにする新潟が発展した要因>

観点	内容
湊の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟湊からは多くの米や特産物が移出された ・新潟湊にも多くの米や特産物が移入された ・信濃川や阿賀野川が越後国の中を縦横無尽に通っている。 ・越後国でとれた米が信濃川や阿賀野川を通り新潟湊に運ばれる ・河川の役割は大切だった
農業の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代には新田開発で新田が生まれ、農具の改良もあって生産力があがった。 ・江戸時代に入って全国の耕地面積が2倍になっている。 ・越後国の米生産量も秀吉のころと比べ3倍になっている ・増産された米は越後国以外に運ばれた ・生産地と消費地が生まれた
交通の拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・西廻り航路と東廻り航路が江戸時代に作られた ・新潟は西廻り航路で大阪と、東廻り航路で江戸と結ばれた ・北前船が西廻り航路に用いられた ・西廻り航路によって生産地と消費地が結ばれるようになった
位置、地形の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・信濃川や阿賀野川が越後の国中を通っている ・新潟町は信濃川や阿賀野川が通るところにある ・川が海に合流するところに新潟町が立地している ・越後を流れている川が海に出るときには新潟町から海に出る ・新潟には元々堀がなかったが移転するときに堀をつくった ・堀によって様々な人が商売ができ、町全体が湊になった

この働きかけによって、生徒は新潟が発展した理由を複数の観点から多面的に把握することができるようになる。

<手だてウ>

新潟町の発展と江戸時代の産業や交通の発達に関連付けを促す指示をする。

社会的事象を多角的に考察しようとする資質・能力を発揮させるために行う。

追究した観点が異なるようにグループを組織し、追究内容を交流し、新潟町が発展した要因を関係図を用いてまとめさせる。グループで作成した関係図を基に新潟町が発展した要因を発表させ、全体で共有する。その際、新田開発や西廻り航路の整備といった江戸幕府の政策と関連付けながら、その政策が新潟町に与えた影響を確認していく。その上で、「新潟町が発展の要因を説明しなさい」と指示し、これまでの学習と関連付けてまとめさせる。

この働き掛けによって、生徒はこれまでの学びを再構成し、新潟の様相(新田開発による米の生産の増加、西廻り航路の拠点港としての貿易の活発化などから新潟町が発展した)から、江戸時代に飛躍的に産業が発展すると共に、全国流通網が整備されたことを具体性や実感を伴って、広い視野から捉え直して理解することができる。この姿こそ、資質・能力が高まった姿そのものである。

<参考・引用文献>

- ・ 倉澤秀典 (2006) 江戸時代の産業・流通の発達を捉える授業 : 「新潟町」 発展の原因・背景を追究する活動を通して 社会科教育論叢 45 21-26
- ・ 小林弍 1998 図説新潟県の歴史 河出書房新社
- ・ 鈴木聖二 2018 みなとまち新潟の社会史 新潟日報事業者
- ・ 田中圭一ら 1998 新潟県の歴史 山川出版社
- ・ 田村裕・伊藤充 2010 知っておきたい新潟県の歴史 新潟日報事業者
- ・ 永田信孝 2015 北前船主な寄港地の今昔 長崎文献社
- ・ 新潟県 1987 新潟県史 通史編 3,4,5 近世(1)(2)(3)
- ・ 新潟市 1996 新潟市史 通史編 2 近世(上)(下) 新潟市
- ・ 新潟市 2003 新潟歴史双書 1 新潟湊の繁栄 新潟市

- 新潟市 2003 新潟歴史双書 7 新潟港のあゆみ 新潟市
- 新潟市歴史博物館 2014 大新潟湊展 新潟市歴史博物館
- 吉田秀樹 2018 湊の日本史 祥伝社

6 本単元における構想 (全5時間 本時5/5)

目的意識	生徒の意識	学習活動・学習内容	教師の支援・指導	評価の観点 評価の方法	
江戸時代に新潟町が発展した要因はなんだろう	産業や交通の発達は江戸幕府にとってよかったな	① 江戸時代の農業や交通の発達の目的を知る ・ 江戸幕府は収入を安定させるため、新田開発を進めたり、航路を整備したりした。 【新田開発】【西廻り航路】【東回り航路】	○ 江戸幕府の収入の中心が年貢米であったこと、陸路に比べ、海路が物資の運搬に有効であったことをおさえる	【知・技】 WS	
	大坂にも影響を与えたんだな	② 大坂が天下の台所として、発展した理由を説明する。 ・ 元々商業の中心であり蔵屋敷が置かれていた大坂に、西廻り航路が整備されたことにより、今まで以上に各地の年貢米や特産物が運ばれ、商人が集まり発展していった。	○ 産業の発達や交通路の整備が都市の発展に影響を与えていることを見いださせるために以下の発問をする。 発問： 大坂が天下の台所として発展した理由を説明しなさい。	【知・技】 WS	
	新潟町にも影響を与えているぞ	③ 西廻り航路の港町の人口推移から新潟町に着目する。 ・ 新潟町はすごい人口が増えた ・ 湊町なのに人口が増えたところと減っているところがあるぞ ・ なぜ新潟町は人口が増えたのだろうか。	○ 新潟町の人口を提示し、大坂との比較からその推移を予想させる (手だてア)	【知・技】 WS	
	越後全体で増えていた訳ではないんだな	④ 新潟町と城下町長岡・高田の人口推移の変化を読み取る ・ 長岡と高田は減っているのに新潟町だけ人口が増加した。 ・ 新潟町の人口が増えたのにはやはり湊が関係しているんだな	○ 新潟町の人口が増加している事実を示す	【知・技】 【思・判・表】 【学】 WS	
	湊町ということ以外にも理由がありそうだ	⑤ 新潟町と同じ港町である直江津・敦賀・酒田の人口推移の変化を読み取る ・ 新潟町と酒田は増えているが、直江津と敦賀は減っている ・ 湊町だから人口が増えるわけではない。	○ 越後全体で人口が増加していたのではないこと、湊町や新潟町の位置という役割に着目させるために、城下町長岡・高田の人口推移の変化を示す。		
	これが要因がなかったのではないかな	【本単元における課題】 江戸時代に新潟町が発展した要因はなんだろうか。			
		⑥ 新潟町が発展した要因を予想する ・ 大きな川が流れているから。 ・ 広い平野が関係しそうだ。 ・ 湊町で貿易をしていたから。 ・ お米がたくさんとれたから。	○ 2つの城下町との比較を予想の根拠にさせる。 ○ 4つの湊町が位置している地形の特徴を地図帳を基に読み取り、予想の根拠にさせる	【知・技】 【思・判・表】 【学】 WS	
		⑦ 学級全体で予想を共有し、整理する。	○ 予想をグルーピングし、湊の発展・農業の発展・交通の拠点・地形、位置の特性に整理する。 (手だてイ)		
		⑧ 自分が追究する観点を選択し、追究活動を行う。 ・ 湊の発展 ・ 農業の発展 ・ 交通の拠点 ・ 位置、地形の特性	○ 追究する資料を提示する。	【知・技】 【思・判・表】 【学】	
		⑨ 同じ追究観点を選んだ生徒と追究内容の共有、強化を行う。	○ 追究観点が同質、異質の生徒のグループを組織する。		
	⑩ 違う追究観点を選んだ仲間と交流し、新潟町が江戸時代に発展した理由を全体で共有する。	○ 新潟町が発展した要因を全体で共有しながら整理する。 (手だてウ)	WS		
	⑪ 個人で新潟町が発展した理由をまとめる。 ・ 江戸幕府の行った新田開発により、越後国中で米の生産量が増え、河川交通で新潟町を経由して新潟湊に米が集まった。そのお米が西廻り航路で大坂に送られた。そして、年貢米として納められたり、販売されたりした。大坂からも様々なものが新潟湊に届き、新潟町を通過して、越後国中に届けられていった。こうして、江戸時代の産業の発達、交通網の整備により、流通網が整備される中で、越後から各地へ、各地から越後への流通の中心として新潟町は発展していったのである。	○ これまでの学習を基に個人でまとめさせる。 指示： 新潟町が発展した要因を説明しなさい。	【知・技】 【思・判・表】 【学】 WS		

7 本時の詳細

(1) 前時までの学習を終えた生徒の実際

- 「産業や交通の発展」に関して、以下のことを理解している。
 - ・ 新田開発により、米の生産量が上がった
 - ・ 西廻り航路，東廻り航路が整備され各地の年貢米や特産物が大坂や江戸に集まるようになった
 - ・ 産業や交通の発展により，江戸幕府の年貢の収入が増えた
 - ・ 産業や交通の発展により，大坂は天下の台所として商業の中心地になっていった
- 「新潟町の発展」の要因に関して，各観点の生徒は以下のことを理解している。

観点	内容
湊の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟湊からは多くの米や特産物が移出された ・ 新潟湊にも多くの米や特産物が移入された ・ 信濃川や阿賀野川が越後国の中を縦横無尽に通っている。 ・ 越後国でとれた米が信濃川や阿賀野川を通り新潟湊に運ばれる ・ 河川の役割は大切だった
農業の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸時代には新田開発で新田が生まれ、農具の改良もあって生産力が上がった ・ 江戸時代に入って全国の耕地面積が2倍になっている。 ・ 越後国の米生産量も秀吉のころと比べ3倍になっている ・ 増産された米は越後国以外に運ばれた ・ 生産地と消費地が生まれた
交通の拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西廻り航路と東廻り航路が江戸時代に作られた ・ 新潟は西廻り航路で大阪と結ばれた ・ 北前船が西廻り航路に用いられた ・ 西廻り航路によって生産地と消費地が結ばれるようになった
位置，地形の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信濃川や阿賀野川が越後の国中を通っている ・ 新潟町は信濃川や阿賀野川が通るところにある ・ 川が海に合流するところに新潟町が立地している ・ 越後を流れている川が海に出るときには新潟町から海に出る ・ 新潟には元々堀がなかったが移転するときに堀をつくった ・ 堀によっていろんな人が商売ができ，町全体が湊になった

(2) 本時のねらい

江戸時代における新潟町の発展について各観点を追究し明らかになったことを関連付ける活動を通して，新潟町の発展の要因を説明することができる。

(3) 評価基準

○ 評価の観点－思考・判断・表現

A	B
江戸時代に新潟町が発展した理由を，流通を視点を越後平野の新田開発，越後平野の河川交通，西廻り航路の整備とかかわらせて説明できる。	江戸時代に新潟町が発展した理由を西廻り航路の整備とかかわらせて説明できる。

(4) 本時の展開

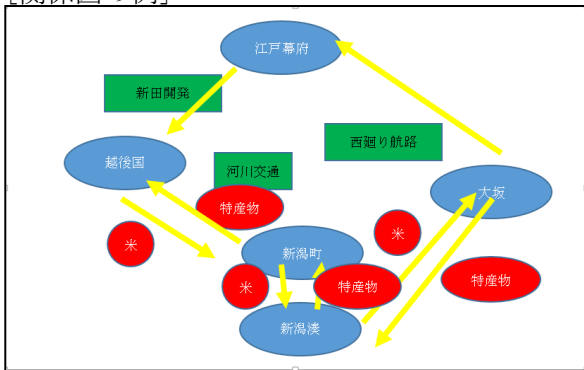
学習活動・予想される生徒の反応	教師の支援・指導 ■ 評価の観点・方法
<p>① 各観点を追究し明らかになったことを仲間に説明する</p> <p>○ 前時までに追究したことを，互いに説明し合う。</p> <p>[湊の発展を追究した生徒]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟湊からは多くの米や特産物が移出された ・ 新潟湊に多くの米や特産物が移入された ・ 信濃川や阿賀野川が越後国の中を縦横無尽に通っている ・ 越後国でとれた米が信濃川や阿賀野川を通り新潟湊に運ばれる ・ 河川の役割は大切だった <p>[農業の発展を追究した生徒]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 江戸時代には新田開発で新田が生まれ、農具の改良もあって生産力があがった。 ・ 江戸時代に入って全国の耕地面積が2倍になった。 ・ 越後国の米生産量も秀吉のころと比べ3倍になっている ・ 増産された米は越後国以外に運ばれた ・ 生産地と消費地が生まれた <p>[交通の拠点を追究した生徒]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西廻り航路と東廻り航路が江戸時代に作られた ・ 新潟は西廻り航路で大阪と、東廻り航路で江戸と結ばれた ・ 北前船が西廻り航路に用いられた ・ 西廻り航路によって生産地と消費地が結ばれた <p>[位置・地形の特性を追究した生徒]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信濃川や阿賀野川が越後の国中を通っている ・ 新潟町は信濃川や阿賀野川が通るところにある ・ 川が海に合流するところに新潟町が立地している ・ 越後を流れている川が海に出るときには新潟町から海に出る ・ 新潟町には元々堀がなかったが移転した際に堀を作った ・ 堀を作ることで，町全体が港として発展した 	<p>指示：追究活動により明らかになったことを資料やキーワードを示しながら，仲間に説明しなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観点が違う生徒同士でグループを編成する。 ○ 資料を基に，キーワードを示しながら説明させる。 ○ 発表会にならないように，質問などのやりとりをさせる。 ○ 自分の追究観点とのつながりをメモさせる。

② 各観点の追究を基にグループで新潟町が発展した要因をまとめる

- この時代は江戸幕府による新田開発で、越後全体でお米の生産量が増えていた。しかし、新潟の人口はそんなに増えていない。作ったお米をどこかに運んでいた。
- 資料からわかるように新潟町には越後国中のお米が河川で集まってくる。
- このお米には年貢米も入るが、そうじゃないものも含まれていた。
- 川が集まる場所に新潟町があったというのが大きかったのか。
- 江戸と大阪を中心に、商品が流通していく仕組みができていた。
- つまり、新潟のお米を西廻り航路で大阪に運んでいた。
- お米以外の特産物なども運んでいたよ。
- それを大坂や各地の湊で売買していたんだ。
- 大坂からも新潟町に様々なものが運ばれた。それが河川を通過して越後国中に運ばれていったことも、発展した要因になるはずだ。

② 全体で共有する。

[関係図の例]



③ 個人で新潟町が発展した要因をまとめる。

- 江戸幕府の行った新田開発により、越後国中で米の生産量が増え、河川交通で新潟町を經由して新潟湊に米が集まった。そのお米が西廻り航路で大阪に送られた。そして、年貢米として納められたり、販売されたりした。大坂からも様々なものが新潟湊に届き、新潟町を通過して、越後国中に届けられていった。こうして、江戸時代の産業の発達、交通網の整備により、流通網が整備される中で、越後から各地へ、各地から越後への流通の中心として新潟町は発展していったのである。

- 新潟町が発展と江戸時代の産業や交通の発達に関連付けを促すために以下の指示をする。

(手だてウ)

指示： 新潟町が発展した理由を関係図でまとめなさい。

- 江戸、大坂、越後、新潟町、新潟湊のキーワードを提示する。
- 各観点のキーワードを関連付けさせていく。その際、必要のないキーワードは用いる必要がないこと、新たに重要だと考えたキーワードは書き足すように指示をする。
- 模造紙にまとめさせる。

- 代表班に発表をさせ、全体で考えを共有する。
- 江戸幕府の政策が新潟町に与えた影響を考えさせる。
- 越後から見た新潟町の位置・役割、日本全体から見た新潟町の位置・役割の視点を確認する。

- 関係図を基に個人で新潟町が発展した要因をワークシートにまとめさせる。

指示： これまでの学習を基に新潟町が発展した要因を説明しなさい。

- 評価の観点： 思考・判断・表現
- 評価方法： ワークシート

江戸時代の産業や交通

組 番 氏名 _____

メモ

Large dashed-line box for taking notes.



○ _____

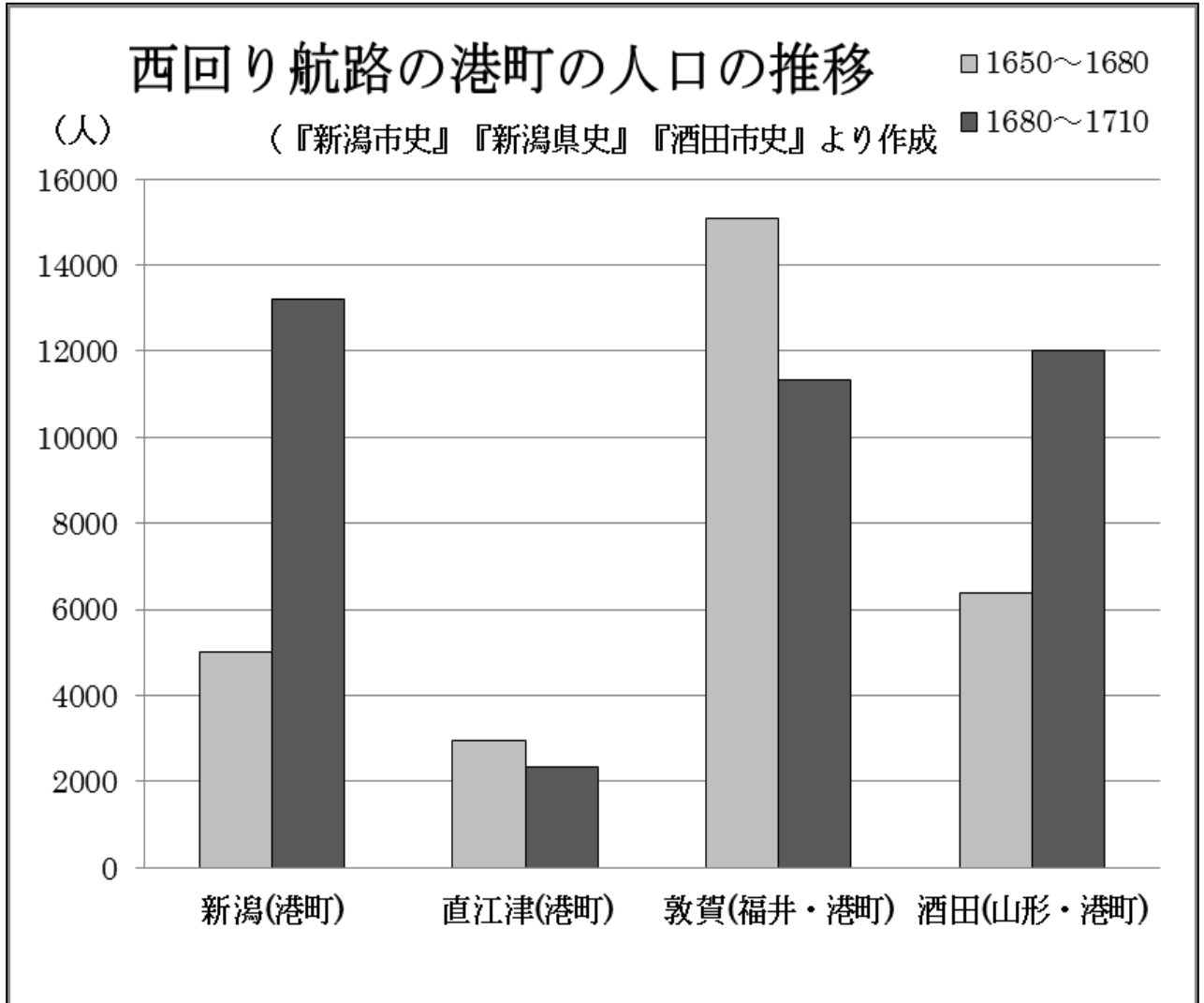
Large rounded rectangular box for writing.

○ _____

Large rounded rectangular box for writing.

江戸時代の産業や交通の発達

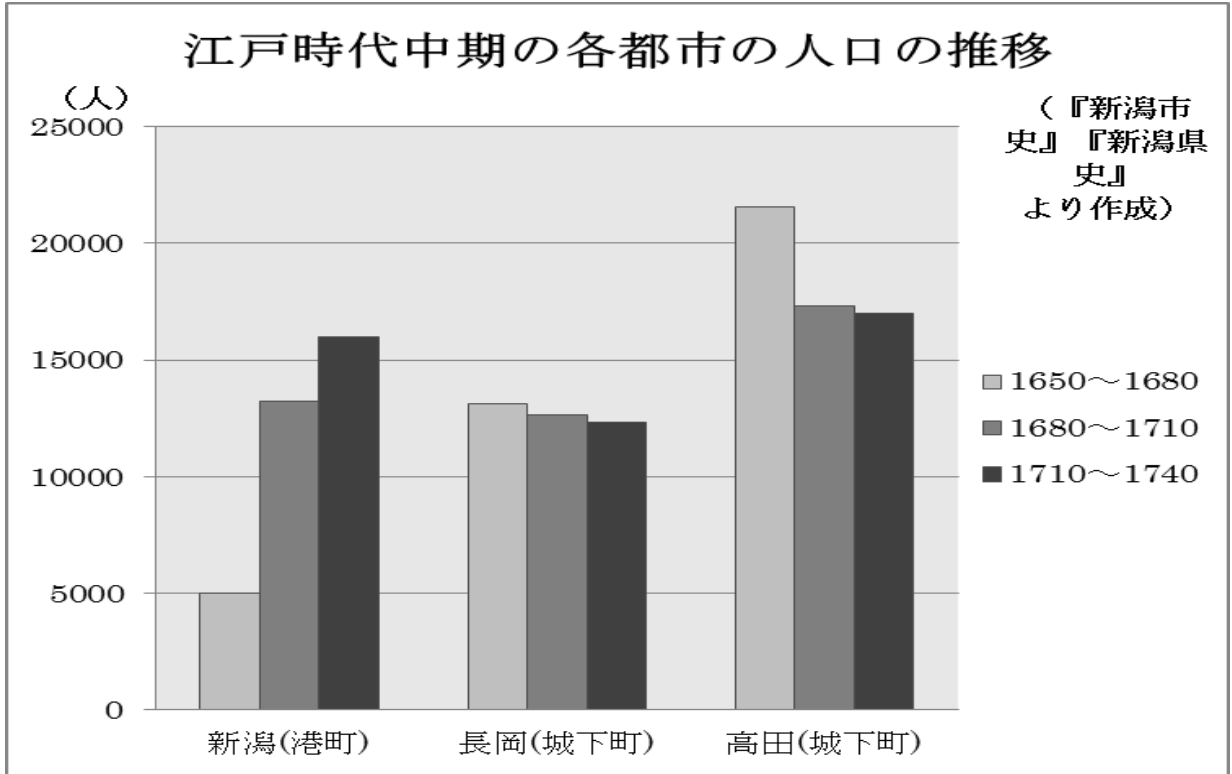
組 番 氏名



資料から読み取れること、予想されること、疑問などを5つ以上書こう！

江戸時代の産業や交通の発達

組 番 氏名



資料から読み取れること、予想されること、疑問などを3つ以上書こう！

江戸時代に新潟町が発展した要因はなんだろうか？

組 番 氏名

○これまでの学習を基に江戸時代の新潟町が発展した理由を予想しよう！

- ・新潟町はどんな場所だった？どんなことが行われていたのかな？
他の地域とどんな風につながりだった？

自分の予想

みんなの予想

○グループで調べること

課題に対する予想	調べる人

○追究課題

江戸時代に新潟町が発展した要因はなんだろうか？

○追究観点 ()

資料の番号	資料から分かること・予想

○この資料から分かった新潟町が江戸時代に発展したのは

--

江戸時代に新潟町が発展した要因はなんだろうか？

組 番 氏名

○江戸時代に新潟町が発展した要因を追究しよう！

- ・ 追究観点

○この観点を基に新潟町が江戸時代に発展したのは・・・

【キーワード】

【説明】

新潟町が発展した要因はなんだろうか？

組 番 氏名

○自分の観点とのつながいを考えながら、仲間の説明を聞こう！

発表者： _____ 観点 _____

(メモ)

